

佳作

ワニの絶滅を止めるには

赤坂小学校 大木 悠莉

私になぜワニの絶滅を止めたいと思ったかは、ニホンオオカミが絶滅してしまいました。それと同じように、現在はワニまでが被害を受けているのです。それをなんとか助けたいと思ったからです。

ワニが減っている主な原因は、皮革目的、生息環境の悪化や変化、食用目的、事故死、溺死などです。

このようなことは、私たち人間のせいでもあり、野生の仲間たちのせいでもあるのです。

恐竜の時代は千年に一種が絶滅する、というぐらいのスピードでした。だが、現在は、一日に約百種が絶滅する、というぐらいのスピードになってしまっているのです。

現在、地球上での絶滅スピードは、一年に四万種が絶滅する、というスピード、という説もあります。この絶滅速度は、化石から推定される過去の平均の一千倍にもなるそうです。さらに、現在のような大量絶滅は、過去にも少なくとも五回はあったと考えられます。

その原因は小惑星の衝突や火山活動などだと考えられます。また、現在は、「第六の大量絶滅期」と、指摘する学者もいるそうです。

なので、生き物のことをもっと考えてあげて、生き物に対

してやさしいことをすることは、すごく大切だと思います。今、実際に政府が行っている解決さくは、狩猟禁止区を設けること、インドネシアの法律で「シヤムワニ」というワニを保護していることなどです。

だが、残念ながらあまり効果はないそうです。それでも、何かを行動にうつさなければなりません。

他にも、生き物の絶滅を防ぐために十月十一日に生物多様性条約第十回締約国会議（COP10）が名古屋市で開かれました。百九十三ヶ国から八千人が集まり、様々な生き物をどう守るかについて話し合いました。

世界中の人が知恵を出し合い、解決さくがたくさん出てきているといいと思います。

私も解決さくを考えてみました。

それは、狩猟禁止区の厳重化と、ワニの放流に適した場所の環境保全と、もっとワニを保護してあげること、生き物のことをもっと考えてあげて、生き物に対してやさしいことをすることです。

それでも、そのことを実行することは、意外と難しいものです。

なので、その解決さくに協力できるようにしたいです。たとえば、ごみの分別や、ごみを出さない工夫、動物の皮革を使った物は買わない、などです。

この地球上の一人一人が、今自分にできることをするところが、動物の絶滅を止めるカギであり、すごく大切な事だと思います。